

アラメエンマムシ *Zabromorphus punctulatus* (Wiedemann)

【選定理由】

情報不足ではあるが、草地のアリに依存するものと思われる。大型のエンマムシ類は全国的にも減少傾向がみられ、本種も減少している可能性が高い。

【形態】

体長 7.9～8.5mm。ツヤのある黒色。前胸背と上翅が密に点刻されることから他のエンマムシ類と容易に区別できる。

【分布の概要】

【県内の分布】

北名古屋、瀬戸市、春日井市で確認されている。

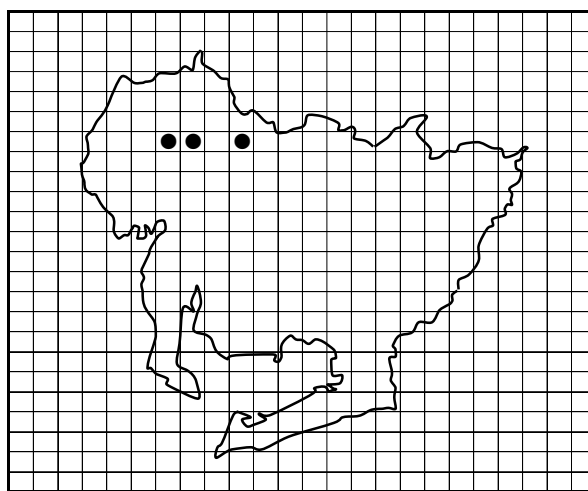
【国内の分布】

本州、九州に分布する。

【世界の分布】

台湾、朝鮮半島、インドネシア（ジャワ）、フィリピンに分布する。

県内分布図



【生息地の環境／生態的特性】

河川敷や池の周りから採集される。詳細は不明であるが、アリとの関係が深いらしい。瀬戸市では比較的安定的に観察できたが、現在その生息地は破壊されている。

【現在の生息状況／減少の要因】

河川敷などの草地で見つかることがほとんどのため、草地の減少、環境の悪化が要因だと思われる。

【保全上の留意点】

河川改修などにより湿潤な草地がなくなれば、本種の発見はより難しくなる。自然のままの河川敷草地の保全が必要である。

【関連文献】

大原昌宏, 1966. 日本産エンマムシ上科解説IV. 甲虫ニュース, (116): 8.
佐藤正孝, 1990. 愛知県の甲虫類 (I). 愛知県の昆虫, (上): 204-231. 愛知県.

(長谷川道明・蟹江 昇・戸田尚希)